

問題1 次の経営分析に関する各設問に答えよ。

＜設問1＞ 次の PPM に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

PPM(Product Portfolio Management)は、自社の製品や事業の市場競争力を客観的に評価、分析するための手法である。PPM では、市場占有率と市場成長率をもとに「問題児」、「花形」、「負け犬」、「金のなる木」の4つに分類し、経営戦略を検討する。

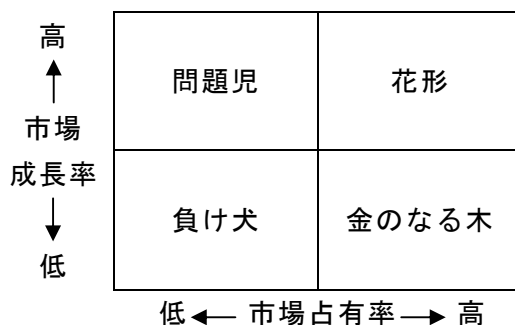


図1 PPM

① 問題児

成長市場であるのに市場占有率が低い。大きな投資を行うことにより市場占有率を高くできれば、 (1) になる可能性がある。

② 花形

成長市場であるため高い利益が期待できるが、市場占有率を維持するための (2) が必要となる。

③ 負け犬

市場成長率、市場占有率ともに低いので、資金を生み出す効果がないため、 (3) を考える必要がある。

④ 金のなる木

市場成長率は低くとも高いシェアを持つため (4) が少なく、 (5) として位置づけられる。

(1) の解答群

ア. 金のなる木 イ. 花形 ウ. 負け犬

(2) , (3) の解答群

ア. 新規参入 イ. 多角化経営 ウ. 撤退 エ. 投資

(4) の解答群

ア. 競合 イ. 顧客数 ウ. 市場の関心 エ. 資本金

(5) の解答群

ア. クレーム数減少の対策
ウ. 投資用の資金源

イ. コスト増加の要因
エ. 不良在庫の原因

＜設問 2＞ 次の国内で生産活動をしている子ども向けの食品メーカーの事例 (6) ～ (8) を SWOT 分析したときのカテゴリを解答群から選べ。

SWOT 分析は、内部環境における強み (Strengths) と弱み (Weaknesses)、外部環境における機会 (Opportunities) と脅威 (Threats) の 4 つのカテゴリで分析する手法である。

	良い要因	悪い要因
内部環境	強み	弱み
外部環境	機会	脅威

図 2 SWOT 分析

[食品メーカーの事例]

- (6) 原料の生産から流通・販売までを自社で行っているので柔軟な対応が可能。
- (7) 消費者の国内生産品に対する志向が高まっている。
- (8) 少子化の影響で子ども向け商品の販売数が減少傾向にある。

(6) ～ (8) の解答群

ア. 機会 イ. 脅威 ウ. 強み エ. 弱み

＜設問 3＞ 次のバランススコアカードに関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

バランススコアカードは、財務の視点、顧客の視点、業績プロセスの視点、学習と成長の視点の 4 つの視点から業績を評価する考え方である。

① 財務の視点

株主や従業員など、ステークホルダの期待に応えるために財務的目標を設定する。

② 顧客の視点

企業のビジョンを達成するために、顧客に対して行動すべき指標を設定する。

③ 業務プロセスの視点

財務の視点や顧客の視点を達成するために、必要な業務プロセスを構築するための指標を設定する。

④ 学習と成長の視点

企業のビジョン達成するために、組織や個人としての能力向上を図るための指標を設定する。

例えば、自社製品をアピールするために行うキャンペーンは (9) の視点、社員の IT スキルを向上させるために研修会への参加を義務付けることは (10) の視点である。

(9) , (10) の解答群

ア. 学習と成長

イ. 業務プロセス

ウ. 顧客

エ. 財務